

練馬区地域共存型アニメ産業集積活性化計画の骨子

1 アニメ産業の現状と課題

日本一を誇る練馬区のアニメ産業集積

- ・ 日本最初の長編カラーアニメ「白蛇伝」製作
- ・ 多くの人気漫画家が区内で活躍
- ・ 日本最大の産業集積 全国 626 社中 94 社
- ・ 世界最大規模のアニメ企業「東映アニメーション」の存在

練馬アニメーション協議会の積極的活動

- ・ アニメ関連事業者 50 社以上が加入
- ・ 東京国際アニメフェアへの出展
- ・ フランス・パリやアヌシーでの国際ビジネスの取り組み
- ・ 区のアニメ事業への協力

高い文化性
世界的に評価される日本のアニメ

- ・ 世界中の子どもに、日本のアニメが見られ喜ばれている
- ・ フランスでは、日本アニメの人気の高い
- ・ アニメの原作者でもある数多くの漫画家の存在

世界的に成長の著しいコンテンツ産業

- ・ 世界平均成長率は 5.8%だが、日本は 2.3%で伸びる余地大
- ・ 日本国内のアニメ売り上げ 2,584 億円

国や東京都におけるコンテンツ産業支援

- ・ 国が新産業創造戦略において、コンテンツ産業を先端的新産業分野として支援
- ・ 日本貿易振興機構（ジェトロ）の支援による日本企業の進出
- ・ 東京都産業振興基本戦略で、コンテンツ産業を重点産業に位置づけ

2 計画目標

日本一の歴史と産業集積を持つ練馬区のアニメ産業を戦略的に強化・育成し、区全体の産業振興と区民の地域への誇りの醸成を図る

しかし、練馬区のアニメ産業集積は、磐石ではない。

厳しさが続く練馬区の産業

- ・ 事業所数 10年で約 3,850 事業所の減少。H8年 25,412 事業所 H18年 21,553 事業所
- ・ 住宅共存型産業の育成が急務

区内からアニメ産業が流出する危機

- 練馬でなければならぬ理由はない -
- ・ デジタル化の進展により、地理的近接性の必要性が薄れてきた
- ・ 他自治体によるコンテンツ産業育成支援
- ・ アニメ製作に適した製作環境の不足

今後のアニメ産業を担う人材の不足

- ・ 国外で動画作成作業が行われることが多いため、技術者の養成が難しい
- ・ 国際的に通用する製作技術の向上と人材の確保が課題
- ・ 国際ビジネスサポート体制の必要性

アニメ産業は区民に知られていない

日本アニメ発祥の地 知っている 24.5%
アニメ産業の集積地 知っている 11.2%

3 集積活性化の方向性

- 全世界に通用し、国際競争力をもった産業へ
- 商店街を始め、地元経済への波及効果の実現
- 企業集積に向けた製作環境の充実
- 人材育成によるアニメ技術の継承と向上
- アニメ文化を区の内外に発信し、区民の誇りとする

4 集積活性化事業

- (1) 国際ビジネス支援
海外進出に向けた市場調査と参入手法の検討
国際的見本市への出展支援
フランス・アヌシー市と練馬区の産業交流
国際アニメビジネスセンターに関する研究
- (2) 作品製作支援
スタジオの定着・区内誘致手法などの研究
アニメスタジオ等企業集積に向けた施設の整備・支援
録音スタジオなど共同利用施設の整備に関する支援
- (3) アニメ文化普及事業
ねりたんアニメカーニバル
ねりたんアニメキャラバン（出前講座）
アニメアーカイブスの製作
（仮称）ふるさと文化館アニメコーナー
練馬アニメモニュメントの整備
アニメ製作や作品を紹介するミュージアム施設整備支援
アニメ製作現場の見学コース整備
- (4) 人材育成支援
ねりたんクリエイターズアワード
アヌシー市と練馬区のクリエイター・スタジオ交流
アニメ・コンテンツ産業に関する専門学校等の誘致
- (5) 地域産業連携事業
商店街事業におけるアニメの活用
鉄道事業者等との連携による地域活性化
練馬区独自アニメキャラクターの開発

5 事業が目指す成果

- 練馬区が日本の有力産業の中核都市に
- 国際的な事業展開によるノウハウの蓄積とビジネス機能の発展を
- 波及効果による商店街や地元産業の活性化と観光の振興
- 区民のアニメ文化に対する愛着と地域への誇りの醸成